

★検査当日は、この用紙を必ずご持参ください★

大腸内視鏡検査に関する説明・同意書

患者番号：

様

年 月 日

私は、_____ 様 に _____ 大腸内視鏡 _____ 検査にあたって以下の説明を行いました。

【大腸内視鏡検査とは】

大腸内視鏡検査とは、肛門から内視鏡(大腸カメラ)を挿入して直接大腸の中を見る検査です。検査では、苦痛が少なくなるよう鎮静剤を使用します。

また、検査の際大腸内にポリープが見つかった場合、当日そのままポリープを切除したり、検査のため組織を採取したりすることがあります。

大腸内視鏡検査に伴う偶発症の頻度は、消化器内視鏡学会第6回全国調査2008年～2012年によれば、偶発性0.011%・死亡率0.0004%でした。

【鎮静剤について】

鎮静剤は脳の動きを抑えて不安や緊張をやわらげ、眠気を催す作用がありますが、まれに呼吸が浅くなることで酸素不足や血圧低下、アレルギー反応などを起こす場合があります。

また、鎮静剤の影響は終日続きますので、検査当日の車の運転、機械の操作、飲酒、重要な決定は絶対に行わないでください。

【ポリープの切除について】

ポリープを切除後1週間程度、切除部位からの出血や切除部位の遅発性穿孔の可能性があります。出血の場合、再度内視鏡検査や輸血が必要になることがあります。穿孔の場合は、手術が必要になる場合があります。

ポリープ切除に伴う偶発症の頻度は、同調査によれば、ポリペクトミーによる偶発症0.390%・死亡率0%、EMR(粘膜切除)による偶発症0.564%・死亡率0.0009%でした。

説明者： _____ 伏谷 英朗 (印)

〈大腸内視鏡検査,鎮静剤使用,ポリープ切除の同意〉

本町ふしたに内科・消化器内視鏡クリニック 院長殿

年 月 日

本人署名： _____

保護者または
代理人署名：

(続柄： _____)

